

No. 1203

シーズンたけなわ

— 群馬・片品 —

例年になく雪の多い今年、あちこちで雪の害も聞かれますが、スキーヤーたちは大喜び。今各地のスキー場はスキーヤーで満員。粉雪をけちらし、思う存分、楽しんでいます。

アフタースキーはダンスでゴーゴー。ちびっ子たちも元気いっぱい。変化に富むゲレンデに思い思いのシュプールを描くスキーヤーたち。まさにシーズンたけなわと言ったところです。

元気に満一歳

ロッキード事件をはじめ、暗いニュースが多かった昨年、明るい話題をふりまいてきた五つ子の赤ちゃんが1月31日、元気に満一歳の誕生日を迎えました。この日東京練馬区の山下家では両親とおばあちゃんが用意したパースデーケーキを前に家族水入らずのささやかな誕生パーティ。父親の頼充さんは仕事のために参加できなかったのがちよっぴり残念、それでも五人は大喜び。一番活発な寿子ちゃんがイスから落ちそうになったり、記念撮影の間に福太郎ちゃんと智子ちゃんが泣き出したりしてパーティは大騒ぎでした。

5人は昨年1月31日、鹿児島市立病院で誕生しました。4人までが極小未熟児でしたが、最先端の医療技術と多くの人たちの努力に支えられて無事育ってきました。

5月12日には全員、保育器を卒業して、空路鹿児島から東京へ大移動、報道陣と千人を超える付近の人々に祝福されて、日大板橋病院に入りました。入院中、たいした病気をせず、9月27日一人前の赤ちゃんに成長して退院。今年の正月は母親の紀子さんも退院して一家七人そろって迎えました。

五人とも食欲はおう盛でベビーサークルから身を乗り出すようにして食べ目に見えて太ってきたという。

歯もはえ初め、全員つかまって立ち上がれるようになり、ひとりで歩けるまでもうすぐ。これからもすくすく成長していくことでしょう。